

日本文学研究専攻授業概要

受入れ可能学生数:若干名

授業科目	授業科目の内容	担当教員		単位	開講学期	曜日・時限	教室
		職名	教員氏名				
書物メディア論	幕末から明治期にかけて、海外から数多くの人々が日本を訪れ、記録し、写真を撮り、また日本の書物や美術品を本国に持ち帰った。そこで、書物メディアがどのような影響を海外に与え、また、日本文学をどのように発見し、記録したのかを、海外の文献など様々な資料を通じて考察する。英文の文献を読み解くことによって、多角的な視野から当時の日本の姿を観察し、日本文学のあり方、文化史的な意義の多様性を考える。	教授	伊井 春樹	2	未定	未定	未定
書物交流論	日中両国間における書物の移動をめぐる様々な史実の考察を中心として、東アジア文化圏における書物交流の実態とその特質を探究する。また、書物交流のルートやそれに関わった人々の活動を考察する一方、日本所蔵の漢籍旧鈔本や中国においてはすでに散逸した佚存書などについても触れる。	准教授	陳 捷	2	未定	未定	未定
書写文化論	写本を中心とする日本の書写文化について、書写という行為、その担い手と場、流布と享受の実態など、様々な側面から、書写文化における日本固有の特質を解明する。	准教授	小川 剛生	2	未定	未定	未定
前期出版文化論	古活字本・整版本を中心とする出版文化について、作者、版元、流通、読者の問題など、広く出版をめぐる様々な側面から近代以前の出版文化の固有の特質を解明する。	教授	鈴木 淳	2	未定	未定	未定
後期出版文化論Ⅰ	明治以降の出版文化について、西洋印刷術の導入、近代メディアの出現、出版活動をめぐる法的規制、近代的ジャンルや読者の形成など、様々な側面から近代出版文化の特質を解明する。さらに電子情報を主とする現代メディアの文化的位相についても考察する。	教授	谷川 恵一	2	未定	未定	未定
後期出版文化論Ⅱ	明治以降の出版文化について、西洋印刷術の導入、近代メディアの出現、出版活動と広告文化、近代読者の成立と展開など、様々な側面から近代出版文化の特質を解明する。さらに電子情報を主とする現代メディアの文化史的位相についても考察する。	准教授	青田 寿美	2	未定	未定	未定
資源集積論	多様な文化資源の集積によって形成される拠点、たとえば各種文庫・学校・寺社・大名家・素封家などの蔵書や記録資料群について、その実態の歴史的検証を通して、書物をめぐる文化的ネットワークの形成・消長ならびにその構造を解明し、今後の資源集積のあり方について、電子アーカイブの可能性も含めて考察する。	教授	高橋 実	2	未定	未定	未定
本文形成論	具体的な作品本文に即して、その伝本を集成して比較検討し、それらの差異や特徴を把握することによって、本文の形成、系統、享受、混淆、流動等の具体相を解明し、その意義を検証する。	准教授	伊藤 鉄也	2	未定	未定	未定
表現形成論	個々の作品、もしくは作品群に、固有な表現を形成する、制度や社会による規制、雅俗の位相差、和漢の相克などの様々な要因を解明し、文体的差異、時代的特徴等の分析を通して、作品が持つ表現的特質を探究する。	教授	中村 康夫	2	未定	未定	未定
作品形成論(中世以前)	書写文化の中で形成された中世以前の文学作品について、それがなぜ、いかに形成されたか、時代思潮、成立の経緯、作者、文化階層など、様々な側面から検証し、その作品の構造や特質、モチーフ、社会的位相、文化史的意義などを明らかにする。		未定	2	未定	未定	未定
作品形成論(近世以降)	出版文化の中で形成された近世以降の文学作品について、それがなぜ、いかに形成されたか、時代思潮、成立過程、作者、出版文化圏、ジャンルなど、様々な側面から検証し、その作品の構造や特質、モチーフ、社会的位相、文化史的意義などを明らかにする。	教授	大高 洋司	2	未定	未定	未定

授業科目	授業科目の内容	担当教員		単位	開講学期	曜日・時限	教室
		職名	教員氏名				
作品享受論	文学作品がどのように読まれ、享受され、古典として確立してきたかについて、読者、流布、書承、引用、注釈、影響など、作品の受容の具体的局面を通して、その実態を文化史的観点から明らかにする。		未定	2	未定	未定	未定
文学思想論 (中世以前) I	批評・研究・理論・文学史など、文学という営為をめぐる言説や思想について、仏教、神道、儒学など、広く時代の文化全体を視野に入れて、中世以前における日本の文学思想の特質を論じる。	教授	山崎 誠	2	未定	未定	未定
文学思想論 (中世以前) II	中世の文学思想の在り方について、仏教・神道等の諸注釈書、室町物語・俳諧連歌・絵画資料等々を主要な素材とし、時代の文化史的背景をも視野に入れながら、その特質を考究する。	准教授	齋藤 真麻理	2	未定	未定	未定
文学思想論 (近世以降)	批評・研究・理論・文学史など、文学という営為をめぐる言説・思想について、仏教、国学、儒学、西洋思想など、広く時代の文化全体を視野に入れて、近世以降の日本の文学思想の特質を論じる。	教授	鈴木 淳	2	未定	未定	未定
文学芸術論	絵入り本、浮世絵などの絵画表現に含まれる、能・狂言、浄瑠璃・歌舞伎などの演劇的要素や、その社会的・文学的意味の解釈を明らかにする。	教授	高橋(山下)則子	2	未定	未定	未定
文学集団論	文学・学芸・芸術を生み出す基盤となったコミュニティ、すなわち歌壇、工房、僧院、劇場、宮廷、大名家、結社、文壇などの種々の場について、具体的・多角的に論じ、日本における文化営為の場の特質を明らかにする。	教授	武井 協三	2	未定	未定	未定
文学社会論	身分・社会・制度・地域・政治・経済など、人間の生を規定する歴史的・社会的諸条件と文学作品との双方向的な関わりについて、その実態を明らかにする。	教授	大友 一雄	2	未定	未定	未定
文学情報論 I	文学作品・新聞雑誌・辞書・絵巻物など、多種多様な文学資源の適切な情報化の方法、およびそれらを活用した研究の展開について考察し、高度情報化社会における情報学をベースとした文化科学の可能性を探る。	准教授	野本 忠司	2	未定	未定	未定
文学情報論 II	日本文学研究においても活用が進む情報処理分野から、日常的に利用するコンピュータやネットワーク、集計データの分析に有用な統計解析手法などの基本技術に加えて、テキスト処理を応用した情報検索やwebマイニングなどのインターネットサービス技術について講義する。	教授	古瀬 蔵	3	未定	未定	未定
書物情報論	装訂・筆跡・活字・奥書・版式・版刻・奥付など、書物を構成する諸要素について、様々な事例を提示しながら具体的に考察し、書物が語りかける多様な情報の意味を総合的に解析する。	准教授	落合 博志	2	未定	未定	未定
記録情報論 I	人間の諸活動についての情報を記録化し、後世に史料として遺した伝来過程と記録情報の本質を、その時代背景の中で考察する。更に記録情報の構造的特質をそれを作成した組織体の活動との関連で解明する。		未定	2	未定	未定	未定
記録情報論 II	記録史料についての内容情報を作成主体の性格、時代的特質と関わらせて分析して解明する認識論を、わが国と諸外国との記録情報を比較しながら追究す	准教授	渡辺 浩一	2	未定	未定	未定

【備考】

以下を条件として受講を認める。

- ・千葉大学大学院人文社会科学研究所との学術交流協定に基づく受講であること。但し、当専攻の学生が履修登録している場合に限る。
- ・学内他専攻の学生の場合については、受講を希望する科目の担当教員と学生との合意に基づき開講する。